

アイガモ農法による米作り



佐倉市 三門増雄



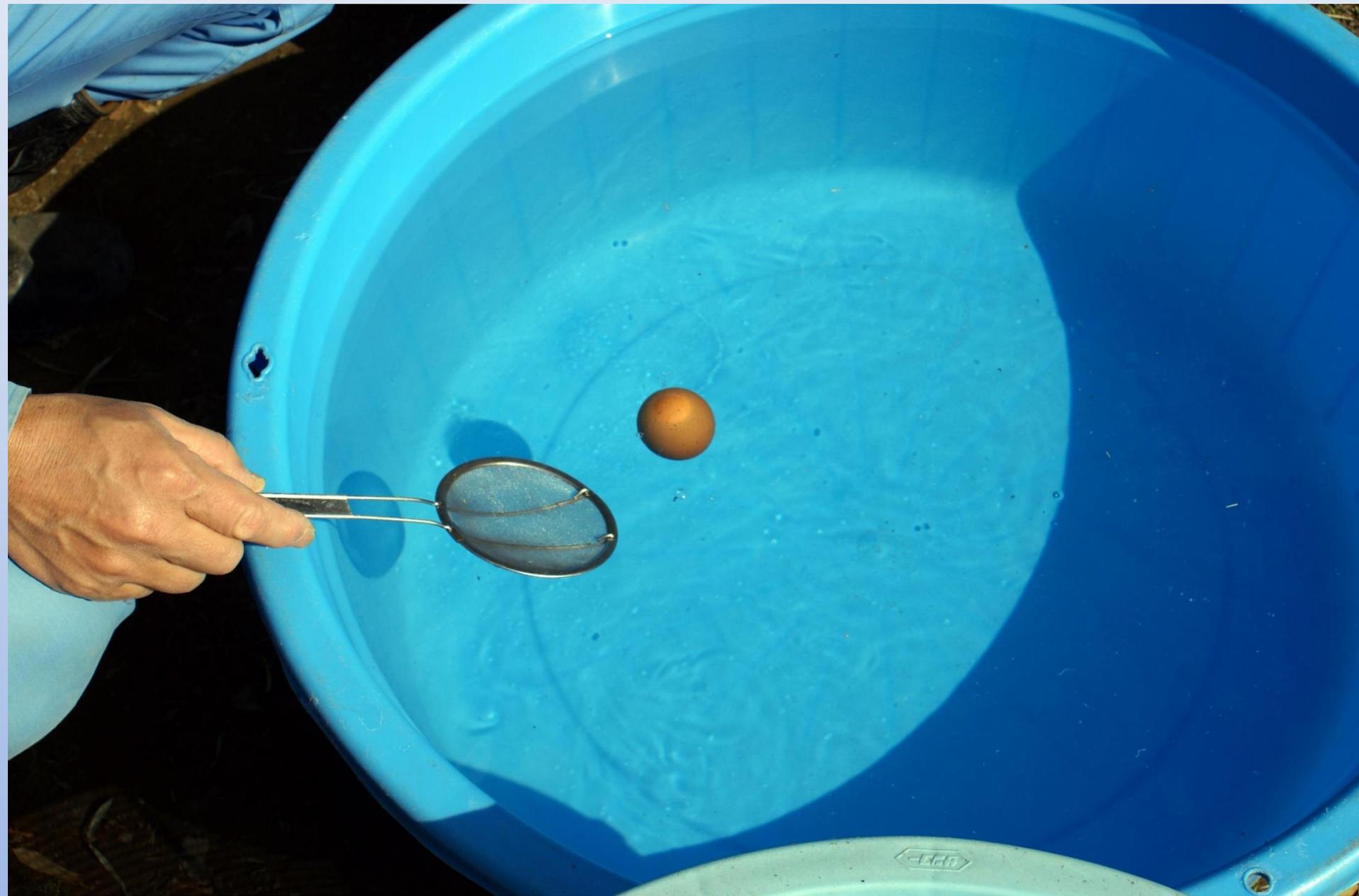
どうしてアイガモ農法を始めたのか

- 平成6年よりアイガモ農法開始。
- 当時、有機栽培を行う農家は少なかった。
- 米価の先行きが不透明になり始めていた。
- 産地間競争と価格差。
- 付加価値のついた米作りが必要であった。
- 子供が誕生して健康、安全な食を求める様になった。



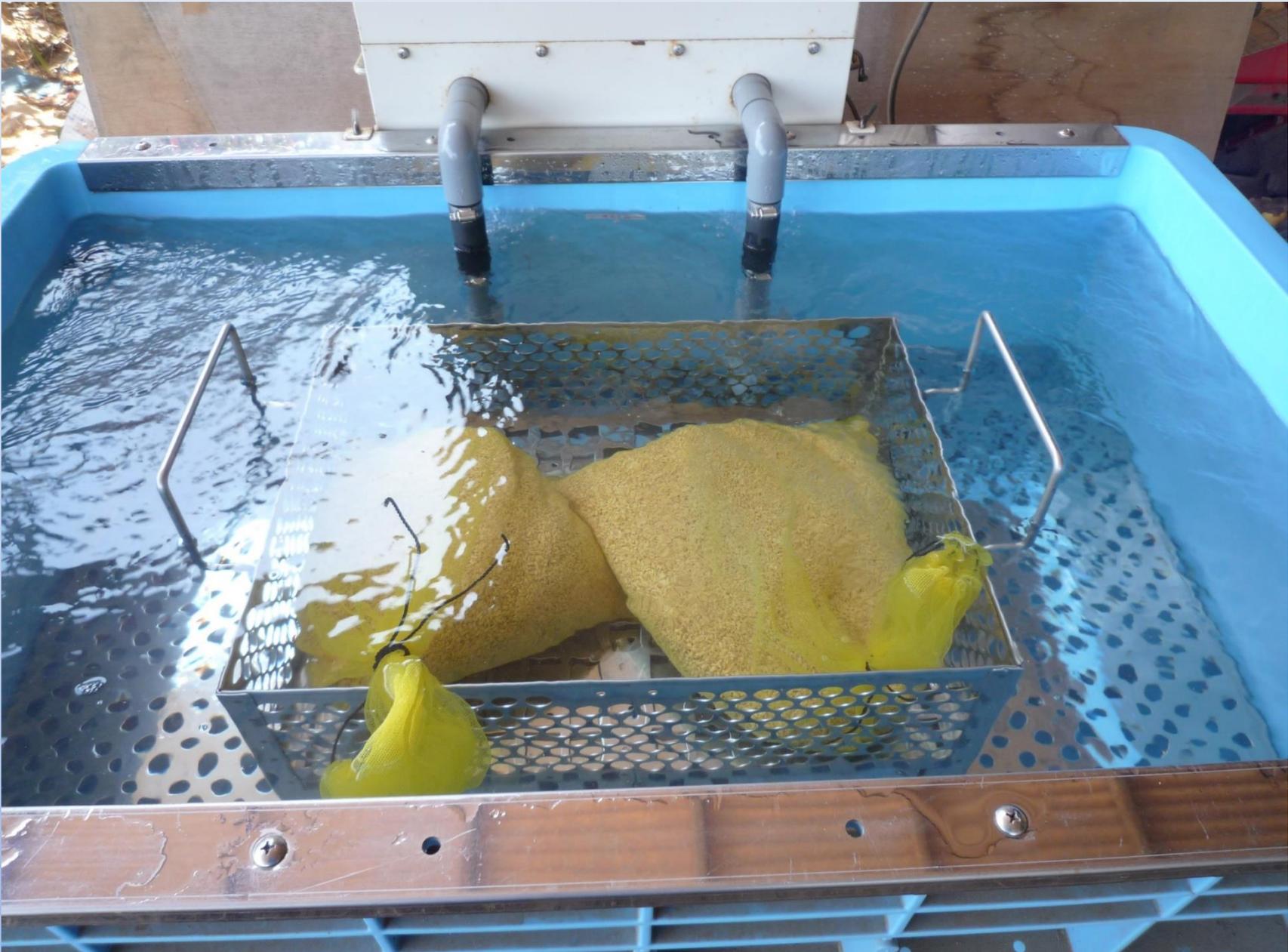










































有機、環境保全型農法に 取り組むことの大切さ

- 化学肥料、農薬を使用しないことで環境への負荷が軽減される。
- 稲ワラ、モミガラ、米ヌカ、鶏ふん等有効利用ができる。
- 生きもの達の生息環境を良くする事が出来る。
- 生態系の再生、環境保全へと繋がる。
- 身近にある資源を利用して循環する持続可能な農業が出来る。